

(第2期) 令和6年度第3回糸島市中小企業振興審議会 会議録

【日時】令和7年2月19日(水) 14:00～16:00

【場所】糸島市役所 庁議室

【出席者】委員：中原委員(会長) 吉田委員(副会長)

大館委員 福島委員 尾崎委員 酒見委員 吉永委員

村田委員 大城委員 安武委員 永濱委員

事務局：小金丸部長 佐藤課長 中島課長補佐 上田主査 中村主査

オブザーバー：糸島市商工会 富永課長

(有)日高ボーリング工業 平川代表

【欠席】委員：小津委員

【内容】

会長挨拶

1. 議事

会長	議事(1)第2次糸島市中小企業振興基本計画の策定について、事務局から説明をお願いする。
事務局	<p>資料1に基づき事務局が説明。</p> <p>令和3年10月に糸島市中小企業振興基本計画を策定した。この計画の期間を5年間としており、計画終期が令和8年3月末までとなる。</p> <p>そこで、令和7年度中に第2次となる計画案を検討し、策定する必要がある。</p> <p>令和7年度は計4回の審議会を開催し、委員の意見を伺いながら計画案を策定していきたい。5月に第1回審議会を開催し、現状把握と方針を決めていく予定だが、先立って現状を把握するため市内事業者を対象にした中小企業実態調査アンケート調査を行う。</p> <p>その後、8月に第2回審議会を開催し、アンケート結果を踏まえて必要な施策や事業を議論した後、審議会に出された意見をもとに計画の素案を作成。9月から10月にかけてその素案に対する市役所内部の意見を集約する。</p> <p>市役所内部の意見を反映した後、11月に第3回審議会で確認いただいたうえで、12月以降にパブリックコメントを実施し、2月の第4回審議会で最終確認、3月末に計画策定といったスケジュールを考えている。</p> <p>委員からのご意見等をいただきながら進めていきたい。</p>
会長	続いて議事(2)中小企業実態調査アンケートについて、事務局から説明をお願いする。
事務局	<p>資料2に基づき事務局が説明。</p> <p>第2次糸島市中小企業振興基本計画に事業者の実態を反映させるために、アンケート調査を実施する。</p> <p>令和3年の第1次計画を策定した際には、中小企業家同友会と商工会で調査を実施した経緯がある。当時のアンケートとの比較ができるように、基本的には前回の内容をベースにアンケート案を作成した。</p>

	<p>設問は、現在の計画に示している5つの基本施策に沿って設定している。</p> <p>ただし、前回のアンケートは設問数が非常に多く回答に時間を要し、回答内容の精度が低かったという反省点があったため、今回は設問数を絞り込んでいる。</p> <p>アンケートは、商工会の会報に同封する予定で、3月末の発送を予定している。事前に委員に送付しているアンケート案の設問ごとに、委員のご意見をいただきたい。</p>										
	<p>以下、アンケートの設問ごとに委員に意見を聴取した。</p>										
委員	<p>今回のアンケートは、第2次中小企業振興基本計画の策定に向けたものだと理解できたが、具体的に何をどのように調査し確認したいのか、目的を明確にすべきである。</p> <p>また、前回一度実施しているアンケートであるため、推移を求めていくためには設問等を変更しない方が良いのではないか。</p> <p>前回のアンケート内容のまま実施する事が非効率なのであれば、今回のアンケートをしっかりと作りこみ、設問の回答結果の推移をしっかりと見ていく必要がある。</p>										
委員	<p>前回のアンケート調査は回答に時間がかかってしまった。今回のアンケート案を試しに回答したところ5分以内で終わったので、「回答のしやすさ」は重要である。</p> <p>現在のボリュームを保持していきながら、聞きたいことをピンポイントで捨てる設問にする工夫が必要。</p>										
事務局	<p>今回の審議会で出た意見を踏まえ、設問等は大幅に変更する可能性もある。しかし、設問が増え解答用紙が複数にわたることになれば、回答数・精度の低下が考えられるため、「質と量」のバランスは調整したい。</p>										
	<table border="1"> <tr> <td>貴社名（屋号）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ご記入者の氏名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メールアドレス ※必須</td> <td></td> </tr> </table>	貴社名（屋号）		ご記入者の氏名		メールアドレス ※必須					
貴社名（屋号）											
ご記入者の氏名											
メールアドレス ※必須											
委員	<p>記入者の年代と役職も記載できれば、各設問に回答した内容と年齢層の関係性が見えると思う。</p>										
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">問1 事業所の状況についてお伺いします。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">次のそれぞれの項目について、該当するものを1つ選んでください。</td> </tr> <tr> <td>事業形態</td> <td>①個人事業主 ②法人</td> </tr> <tr> <td>業種</td> <td>①建設業 ②製造業 ③運輸業 ④卸売業 ⑤小売業 ⑥宿泊業 ⑦飲食業 ⑧医療・福祉 ⑨サービス業 ⑩その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>事業継続年数</td> <td>①5年未満 ②5年～10年未満 ③10年～20年未満 ④20年～50年未満 ⑤50年以上</td> </tr> </table>	問1 事業所の状況についてお伺いします。		次のそれぞれの項目について、該当するものを1つ選んでください。		事業形態	①個人事業主 ②法人	業種	①建設業 ②製造業 ③運輸業 ④卸売業 ⑤小売業 ⑥宿泊業 ⑦飲食業 ⑧医療・福祉 ⑨サービス業 ⑩その他（ ）	事業継続年数	①5年未満 ②5年～10年未満 ③10年～20年未満 ④20年～50年未満 ⑤50年以上
問1 事業所の状況についてお伺いします。											
次のそれぞれの項目について、該当するものを1つ選んでください。											
事業形態	①個人事業主 ②法人										
業種	①建設業 ②製造業 ③運輸業 ④卸売業 ⑤小売業 ⑥宿泊業 ⑦飲食業 ⑧医療・福祉 ⑨サービス業 ⑩その他（ ）										
事業継続年数	①5年未満 ②5年～10年未満 ③10年～20年未満 ④20年～50年未満 ⑤50年以上										
委員	<p>「業種」に関して、選択肢に偏りを感じる。産業分類等で分けたほうが良いのではないか。</p>										
事務局	<p>日本標準産業分類をもとに選択肢を作ると項目が多くなってしまふ。見づらくなることを懸念し、今回は絞り込んで選択肢を作っている。</p>										
委員	<p>⑥宿泊・⑦飲食や④卸売・⑤小売が分かれているが、サービス業はかなり広範囲になると思う。製造業も「食品」なのか「部品」なのかで性質が大きく変わる。サービス業にも括弧を付け、記載を促してよいのではないか。</p>										

	<p>また、業種の選択肢は多くとも、自身と関係ない業種は目に入らないし、ある程度選び慣れているので、時間は要しない。見慣れない選択肢だと逆に悩みそうだがどうか。</p>			
委員	<p>前回の選択肢は業種だけで 19 あったため、前回のままだと多いと感じる。答えやすく作るという部分に重きを置くのであれば、設問は少なく、かつ偏りが無いよう工夫すべき。</p>			
委員	<p>当アンケートは、商工会会員に送付するだけなのか。</p>			
事務局	<p>市内中小企業全てが対象となるため、当アンケートは 4 月 1 日の広報いとしまに掲載し、かつ HP に掲載し広く呼びかける予定で、商工会会報への入れ込みは一つの手段となる。</p> <p>業種の選択肢は絞っているものの、選択肢にはない一次産業等も中小企業法に基づくアンケートの対象となる。しかし、一次産業に関しては他の計画で取り組みを進めていることや、当課が進める中小企業振興の本旨と若干反れてしまうことを懸念しているため、前回業種の選択肢に農業、漁業、鉱業等を分けて配置していたが、今回は入れていない。</p> <p>中小企業とは言え「商工業」に比重を置いて進めている。5 つの基本施策には「産業間連携」に関しても取り組むこととなっているため、そういった部分が進めば、必然的に一次産業との関係等も考えて行く必要がある。</p>			
委員	<p>事業継続年数に関して、新型コロナウイルス感染症が流行する前に創業したのか、終息後に創業したのかを確認できた方が良いのではないか。</p>			
事務局	<p>新型コロナウイルス感染症の関係は、問 6 の売上収益の設問で設定しているが、この部分に入れて良いかもしれない。検討する。</p>			
委員	<p>アンケートを精査する度に業種の選択肢に関する議論にならないよう、選択肢を絞った理由等をどこかに記載できれば良いのではないか。</p>			
事務局	<p>整理する中で、スペースに余裕ができれば、全て入れてもよいかもしれないが、入らないのであれば、前回回答の多かった業種を追加するなどして整理したい。</p>			
	<table border="1"> <tr> <td>問 2 経営指針等についてお伺いします。</td> </tr> <tr> <td>貴事業所でお持ちのものを次の中から選んでください。(複数回答可)</td> </tr> <tr> <td>①企業理念 ②経営ビジョン ③事業計画 ④就業規則(※新たに追加) ⑤なし</td> </tr> </table>	問 2 経営指針等についてお伺いします。	貴事業所でお持ちのものを次の中から選んでください。(複数回答可)	①企業理念 ②経営ビジョン ③事業計画 ④就業規則(※新たに追加) ⑤なし
問 2 経営指針等についてお伺いします。				
貴事業所でお持ちのものを次の中から選んでください。(複数回答可)				
①企業理念 ②経営ビジョン ③事業計画 ④就業規則(※新たに追加) ⑤なし				
委員	<p>BCP(事業継続計画)は設けなくて良いか。また、就業規則を今回新たに入れた理由は何か。</p>			
事務局	<p>BCP の策定に関しては、当計画の基本施策に該当するため、問 8 に設けている。よってここへ記載する必要はないと考えている。</p> <p>就業規則の有無は、企業の規模に相関していると推察している。問 5 で従業員数を聞く部分と併せて、従業員数と就業規則の相関関係を集約できるようにしたい。</p>			
委員	<p>就業規則は、1 人でも雇用した場合作るのが原則となるが、今回のアンケートで従業員規模と就業規則の設定に相関が見えるのは良いと思う。</p>			
	<table border="1"> <tr> <td>問 3 事業所の強みについてお伺いします。</td> </tr> <tr> <td>貴事業所の強みは何ですか?(選択は 3 つまで)</td> </tr> <tr> <td>①品質 ②品揃え ③技術力 ④企画開発力 ⑤営業力 ⑥価格・コスト ⑦財務力・資金調達力 ⑨ネットワーク ⑩新技術・ノウハウの投入速度 ⑪働きやすさ ⑫採用力 ⑬従業員の優秀さ ⑭その他()</td> </tr> </table>	問 3 事業所の強みについてお伺いします。	貴事業所の強みは何ですか?(選択は 3 つまで)	①品質 ②品揃え ③技術力 ④企画開発力 ⑤営業力 ⑥価格・コスト ⑦財務力・資金調達力 ⑨ネットワーク ⑩新技術・ノウハウの投入速度 ⑪働きやすさ ⑫採用力 ⑬従業員の優秀さ ⑭その他()
問 3 事業所の強みについてお伺いします。				
貴事業所の強みは何ですか?(選択は 3 つまで)				
①品質 ②品揃え ③技術力 ④企画開発力 ⑤営業力 ⑥価格・コスト ⑦財務力・資金調達力 ⑨ネットワーク ⑩新技術・ノウハウの投入速度 ⑪働きやすさ ⑫採用力 ⑬従業員の優秀さ ⑭その他()				

	<p>問4 事業所の課題についてお伺いします。</p> <p>貴事業所の経営課題は何ですか？（選択は3つまで）</p> <p>①売上 ②販路拡大(受注件数) ③販路拡大(客数の伸び悩み) ④資金繰り改善 ⑤設備投資(新規事業) ⑥設備投資(設備の老朽化) ⑦人材の確保・育成 ⑧事業承継(後継者不足)</p> <p>⑨IT活用 ⑩新製品・サービス・事業の開発 ⑪技術力向上 ⑫その他()</p>
委員	経営課題の項目に関し、「価格転嫁」を入れるべきである。
事務局	入れるよう調整する。
	<p>問5 人材に関することについてお伺いします。</p> <p>(1) 従業員数は何人ですか？</p> <p>正社員()人・パート・アルバイト()人、従業員のうち男性()人・女性()人</p> <p>(2) 現在、事業に必要な人材は確保できていますか？</p> <p>①確保できている ②確保できていない</p> <p>(3) 今後確保していきたいのはどういった人材ですか？（複数回答可）</p> <p>①正社員(新卒) ②正社員(中堅) ③正社員(管理職) ④パート・アルバイト等</p> <p>⑤退職者の再雇用 ⑥外国人 ⑦当面予定していない</p> <p>(4) 今後の採用予定はありますか？（複数回答可）</p> <p>①中学校卒業 ②高校・専門学校卒(新卒) ③大学卒(新卒) ④社会人経験者 ⑤採用は考えていない</p> <p>(5) 糸島市在住者・出身者を積極的に採用する予定はありますか？</p> <p>①はい ②いいえ</p> <p>(6) 貴事業所で不足している人材の分野は何ですか？（選択は3つまで）</p> <p>①営業 ②販売(接客含む) ③生産(調理・工事含む) ④企画 ⑤開発 ⑥経理</p> <p>⑦総務 ⑧人事 ⑨法務 ⑩IT ⑪人材不足なし ⑫その他()</p>
委員	(1) 従業員の人数に関して、男女の分けだけで良いのか。
事務局	「その他」を追加する方法はあるが、自治体で実施している他のアンケート等を統計担当部署等に確認し、必要に応じて修正する。
委員	そもそも男女内訳は必要か。
事務局	分析のために必要であると考える。
委員	(3)の今後確保していきたい人材に関して、例えば、大学院卒になると高卒に比べコストが高いことや、逆に高卒を必要とする会社は若い段階で入社し、社会経験を培ってほしい、社会人経験者は即戦力になるから等採用したい等、各項目で背景に理由があると思う。ただ、欲しい人材を聞いているだけの設問にならないようにする必要がある。ただ自由記述等を設問として増やすと全体のボリュームの問題が懸念される。
委員	<p>(3)に関して、市が進めている「副業人材」も盛り込むべきではないか。業務委託契約なので「雇用」ではないと思うが、働き方が変化する中で、外注や副業を取り入れることは企業にとって重要な戦略であると考える。</p> <p>人材問題は雇用を増やすだけでは解決にならない場合もあり、外部リソースを活用する柔軟なアプローチとして「副業人材」があると思うので、組み込んではどうか。</p>

委員	市の雇用の状況を知るということも目的にあると思うので、「雇用」という設問に「副業人材」は、委託や外注というイメージが強いため、そぐわないのではないかと。
委員	<p>副業人材の活用について、市が展開する「プロ人材」をイメージしがちだが、実際には地元にもフリーランスや業務委託で仕事を請け負う個人が多く存在している。人手不足の本質は「仕事をしたい人がいるのに、それを担う仕組みがない」ことであり、企業側も「雇用しなければならない」という固定観念にとらわれがちだ。</p> <p>しかし、必要な業務を単発で外部に委託する方法も選択肢の一つであり、雇用以外の形態で人材を活用することも可能だ。アンケートにも、フリーランスや業務委託の活用についての項目を加え、新たな働き方を模索する機会を設けるべきではないかと。</p>
会長	<p>副業人材は自身も活用しているが、「雇用」というイメージではない。位置付けは難しいものの、問6の収益の拡大を図るため何が必要かという部分において、「副業を活用して、取り組む」。「足りないものをサポートする」といった意味合い、雇用はできないけど、活用ができるというスタンスで活用している。</p> <p>ここは委員でも意見が分かれている為、事務局に工夫していただき、落ち着いた案を検討してほしい。</p>
委員	（5）の市在住者・出身者を積極的に採用する予定はあるかという点に関して、例えば募集定員が1人の状況で、2名が最終面接に残り、1人が糸島市出身、もう1人は糸島市に無関係ではあるものの、後者の方が優秀だった場合、一概に選択するのが難しいのではないかと。「はい」にしたものの、実情は違うという状態が懸念される。
事務局	この設問のニュアンスとしては、同じ条件であれば糸島市の人を採用する気持ちがあるか、という設問となる。
委員	1月に商工会が合同就職面談会を実施されたと伺っている。これはやはり地元開催し、地元の方を採用したい企業ニーズを踏まえて実施しているのではないかと。
委員	参加した企業が必ずしもそうではないと思うが、今回の相談会は、参加企業20社と参加者65人に対してアンケート調査を実施している。現在集計中ではあるが、アンケート結果は市内企業の雇用に対する考え方などを集約できると考えている。
委員	あくまで糸島にゆかりある人を採用したいかという感覚を問う設問であるため、そのままが良いのではないかと。どれだけの事業者が、そういった思いなのかは個人的に気になる。結果次第ではあるものの、今後の求人のモチベーションに繋がっていく可能性もあるため残していいと考える。
事務局	<p>市では、糸島農業高校と玄洋高校の2校に対し、「仕事の紹介講演会」を実施している。学校が希望した市内企業2社に登壇いただき、企業紹介を行っていただく。更に対象高校のOB・OG職員にも同席いただき、より学生に市内企業に就職したい機運を高める内容となっている。</p> <p>こういった活動の延長線上にも「糸島市にゆかりある人を雇用したいか」といった話につながると考えている。</p>
委員	（4）今後の採用予定の選択肢に、子育てや介護で離職した人の選択肢も入れて欲しい。また、（6）貴事業所で不足している人材の分野に関して、現在12の選択肢があるが、ここ

	<p>も内容に差があると思う。例えば選択肢にある「経理」、「総務」、「人事」、「法務」は一つにしても良いのではないか。逆に、技術者やエンジニア、プログラマーの方は押しなべて「IT」に該当すると思うが、少し広義的に感じる。</p> <p>おそらく「③生産」の選択が多いと思うが、飲食店の方もいっしょれば建設業の方もいっしょるため「③生産」を細分化すべきと考える。</p> <p>更に、医療従事者や、保育士等「現場で働く人」はどこを選択するべきかがわかりづらい。</p>																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">(7) 人材確保の問題点は何ですか？(選択は3つまで)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①従業員の定着率 ②募集しても集まらない ③教育者の不足 ④教育時間の不足</td> </tr> <tr> <td colspan="2">⑤従業員の高齢化 ⑥従業員の過剰 ⑦待遇・労働環境の整備・改善</td> </tr> <tr> <td colspan="2">⑧特になし ⑨その他()</td> </tr> </table>	(7) 人材確保の問題点は何ですか？(選択は3つまで)		①従業員の定着率 ②募集しても集まらない ③教育者の不足 ④教育時間の不足		⑤従業員の高齢化 ⑥従業員の過剰 ⑦待遇・労働環境の整備・改善		⑧特になし ⑨その他()													
(7) 人材確保の問題点は何ですか？(選択は3つまで)																					
①従業員の定着率 ②募集しても集まらない ③教育者の不足 ④教育時間の不足																					
⑤従業員の高齢化 ⑥従業員の過剰 ⑦待遇・労働環境の整備・改善																					
⑧特になし ⑨その他()																					
会長	「⑥従業員の過剰」とはどういった意味合いか。																				
事務局	事業縮小などによる従業員数の過剰等が考えられる。																				
委員	賃金に着目し、人件費が高いから雇えないという項目を入れていただきたい。 人件費に関しては最低賃金がどんどん上がってきているものの、その賃上げについていけない事業者も多いと思う。																				
委員	賃金が高いこと自体が問題なのではなく、賃金を払うだけの体力(収益)がないことが課題である。待遇(賃金)と労働環境(働きやすさ)を分けて考えたほうが、対策を立てやすい。																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">問6 売上・収益に関することについてお伺いします。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(1) ア～エのそれぞれの項目について、該当する番号を1つ選んでください。</td> </tr> <tr> <td>ア 前期の売上高</td> <td>①1千万円未満 ②1千万円～3千万円未満 ③3千万円～5千万円未満 ④5千万円～1億円未満 ⑤1億円～5億円未満 ⑥5億円～10億円未満 ⑦10億円以上</td> </tr> <tr> <td>イ 前期の利益</td> <td>①黒字 ②利益なし(0) ③赤字</td> </tr> <tr> <td>ウ コロナ前と比較した売上状況</td> <td>①増加 ②変わらない ③減少 ④創業5年未満</td> </tr> <tr> <td>エ コロナ前と比較した経常利益</td> <td>①増加 ②変わらない ③減少 ④創業5年未満</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(2) 売上・収益の拡大を図るためには何が重要と考えますか？(選択は3つまで)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①既存製品・サービスの高付加価値化 ②新製品・新サービス・事業の開発 ③顧客ニーズへのきめ細やかな対応 ④価格競争力の強化 ⑤営業・販売体制の見直し・強化 ⑥宣伝広告の強化 ⑦海外市場の獲得 ⑧新分野への進出 ⑨設備投資 ⑩リピーターの獲得 ⑪新規顧客開拓 ⑫コスト削減 ⑬在庫管理 ⑭特になし ⑮その他()</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(3) (2)で選択した項目において、何が重要と考えますか？(選択は3つまで)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①市場調査・分析などのマーケティング ②高度な技術力 ③アイデア・発想 ④経営者の意思 ⑤従業員の意欲 ⑥大学等の活用 ⑦企業間連携 ⑧人脈・相談できる仲間 ⑨専門分野等の人材 ⑩ITの活用 ⑪設備投資 ⑫生産工程の見直し ⑬特になし ⑭その他()</td> </tr> </table>	問6 売上・収益に関することについてお伺いします。		(1) ア～エのそれぞれの項目について、該当する番号を1つ選んでください。		ア 前期の売上高	①1千万円未満 ②1千万円～3千万円未満 ③3千万円～5千万円未満 ④5千万円～1億円未満 ⑤1億円～5億円未満 ⑥5億円～10億円未満 ⑦10億円以上	イ 前期の利益	①黒字 ②利益なし(0) ③赤字	ウ コロナ前と比較した売上状況	①増加 ②変わらない ③減少 ④創業5年未満	エ コロナ前と比較した経常利益	①増加 ②変わらない ③減少 ④創業5年未満	(2) 売上・収益の拡大を図るためには何が重要と考えますか？(選択は3つまで)		①既存製品・サービスの高付加価値化 ②新製品・新サービス・事業の開発 ③顧客ニーズへのきめ細やかな対応 ④価格競争力の強化 ⑤営業・販売体制の見直し・強化 ⑥宣伝広告の強化 ⑦海外市場の獲得 ⑧新分野への進出 ⑨設備投資 ⑩リピーターの獲得 ⑪新規顧客開拓 ⑫コスト削減 ⑬在庫管理 ⑭特になし ⑮その他()		(3) (2)で選択した項目において、何が重要と考えますか？(選択は3つまで)		①市場調査・分析などのマーケティング ②高度な技術力 ③アイデア・発想 ④経営者の意思 ⑤従業員の意欲 ⑥大学等の活用 ⑦企業間連携 ⑧人脈・相談できる仲間 ⑨専門分野等の人材 ⑩ITの活用 ⑪設備投資 ⑫生産工程の見直し ⑬特になし ⑭その他()	
問6 売上・収益に関することについてお伺いします。																					
(1) ア～エのそれぞれの項目について、該当する番号を1つ選んでください。																					
ア 前期の売上高	①1千万円未満 ②1千万円～3千万円未満 ③3千万円～5千万円未満 ④5千万円～1億円未満 ⑤1億円～5億円未満 ⑥5億円～10億円未満 ⑦10億円以上																				
イ 前期の利益	①黒字 ②利益なし(0) ③赤字																				
ウ コロナ前と比較した売上状況	①増加 ②変わらない ③減少 ④創業5年未満																				
エ コロナ前と比較した経常利益	①増加 ②変わらない ③減少 ④創業5年未満																				
(2) 売上・収益の拡大を図るためには何が重要と考えますか？(選択は3つまで)																					
①既存製品・サービスの高付加価値化 ②新製品・新サービス・事業の開発 ③顧客ニーズへのきめ細やかな対応 ④価格競争力の強化 ⑤営業・販売体制の見直し・強化 ⑥宣伝広告の強化 ⑦海外市場の獲得 ⑧新分野への進出 ⑨設備投資 ⑩リピーターの獲得 ⑪新規顧客開拓 ⑫コスト削減 ⑬在庫管理 ⑭特になし ⑮その他()																					
(3) (2)で選択した項目において、何が重要と考えますか？(選択は3つまで)																					
①市場調査・分析などのマーケティング ②高度な技術力 ③アイデア・発想 ④経営者の意思 ⑤従業員の意欲 ⑥大学等の活用 ⑦企業間連携 ⑧人脈・相談できる仲間 ⑨専門分野等の人材 ⑩ITの活用 ⑪設備投資 ⑫生産工程の見直し ⑬特になし ⑭その他()																					
委員	(2) ⑬の「在庫管理」は不要ではないか。																				

委員	<p>(2) 売上・収益の拡大を図るために重要と考えることで、⑨に「設備投資」とある。さらに(3)で(2)の回答に対し、何が重要かという部分で⑩に「設備投資」がある。ここはかぶっているのではないか。</p> <p>また、設備投資には資金調達が必要となるため、補助金・助成金、資金調達等の項目を入れるべきではないか。</p>					
事務局	<p>(2)で選択した内容によっては、(3)に設備投資という選択肢があり得るのでそのままにしたい。(3)に資金調達(ファイナンス)や補助金の項目は入れるよう整理する。</p>					
委員	<p>「設備投資・新規事業」という言葉の使い方も整理が必要だと考える。新規事業についても「既存の事業領域から離れた新たな挑戦」なのか、「現事業の拡大・発展」なのかを区別できるように表現にすることで、回答者が意図を理解しやすくなるだろう。</p>					
	<table border="1"> <tr> <td>問7 事業承継(後継者問題)についてお伺いします。</td> </tr> <tr> <td>(1) 事業承継を考えていますか? ①はい ②いいえ</td> </tr> <tr> <td>(2) (1)で「①はい」と答えられた方にお伺いします。後継者候補は誰ですか? ①親族 ②役員・従業員 ③その他 ④決まっていない</td> </tr> <tr> <td>(3) (1)で「①はい」と答えられた方にお伺いします。事業承継の時期はいつですか? ①1年以内 ②3年以内 ③5年以内 ④10年以内</td> </tr> <tr> <td>(4) (1)で「①はい」と答えられた方にお伺いします。事業承継に向けた具体的な準備を進めていますか? ①はい ②いいえ</td> </tr> </table>	問7 事業承継(後継者問題)についてお伺いします。	(1) 事業承継を考えていますか? ①はい ②いいえ	(2) (1)で「①はい」と答えられた方にお伺いします。後継者候補は誰ですか? ①親族 ②役員・従業員 ③その他 ④決まっていない	(3) (1)で「①はい」と答えられた方にお伺いします。事業承継の時期はいつですか? ①1年以内 ②3年以内 ③5年以内 ④10年以内	(4) (1)で「①はい」と答えられた方にお伺いします。事業承継に向けた具体的な準備を進めていますか? ①はい ②いいえ
問7 事業承継(後継者問題)についてお伺いします。						
(1) 事業承継を考えていますか? ①はい ②いいえ						
(2) (1)で「①はい」と答えられた方にお伺いします。後継者候補は誰ですか? ①親族 ②役員・従業員 ③その他 ④決まっていない						
(3) (1)で「①はい」と答えられた方にお伺いします。事業承継の時期はいつですか? ①1年以内 ②3年以内 ③5年以内 ④10年以内						
(4) (1)で「①はい」と答えられた方にお伺いします。事業承継に向けた具体的な準備を進めていますか? ①はい ②いいえ						
事務局	<p>(3)の事業承継の時期は10年を超える選択肢を追加する。</p>					
委員	<p>事業承継したいと考えていても、「うちは無理だろう」と漠然に思っている方も「いいえ」にしてしまう懸念がある。</p> <p>(1)事業承継を考えていますかという問い方を「予定があるかどうか」と捉える事業者もいると思うため、聞き方を工夫していただきたい。</p>					
委員	<p>事業承継の問題は、結局引き継ぐ相手がおらず、自身の代で事業がクローズしてしまうことが課題。そのため、事業承継を考えている人を支援するという事に加え、諦めている人をどうするか、どのようにこの設問で情報を収集すればよいか検討いただきたい。</p>					
	<table border="1"> <tr> <td>問8 防災・減災対策についてお伺いします。</td> </tr> <tr> <td>(1) 事業継続計画(BCP)などを策定していますか? ①策定している ②策定していない ③BCPを知らない</td> </tr> <tr> <td>(2) 貴事業所のある地域のハザードマップを見たことがありますか? ①ある ②ない ③ハザードマップを知らない</td> </tr> </table>	問8 防災・減災対策についてお伺いします。	(1) 事業継続計画(BCP)などを策定していますか? ①策定している ②策定していない ③BCPを知らない	(2) 貴事業所のある地域のハザードマップを見たことがありますか? ①ある ②ない ③ハザードマップを知らない		
問8 防災・減災対策についてお伺いします。						
(1) 事業継続計画(BCP)などを策定していますか? ①策定している ②策定していない ③BCPを知らない						
(2) 貴事業所のある地域のハザードマップを見たことがありますか? ①ある ②ない ③ハザードマップを知らない						
	<table border="1"> <tr> <td>問9 主な売上先・仕入先についてお伺いします。</td> </tr> <tr> <td>(1) 主な売上先(顧客)はどこですか? ①糸島市内 ②福岡市 ③福岡県内(①②以外) ④福岡県外 ⑤不明</td> </tr> <tr> <td>(2) 主な仕入先はどこですか? ①糸島市内 ②福岡市 ③福岡県内(①②以外) ④福岡県外</td> </tr> </table>	問9 主な売上先・仕入先についてお伺いします。	(1) 主な売上先(顧客)はどこですか? ①糸島市内 ②福岡市 ③福岡県内(①②以外) ④福岡県外 ⑤不明	(2) 主な仕入先はどこですか? ①糸島市内 ②福岡市 ③福岡県内(①②以外) ④福岡県外		
問9 主な売上先・仕入先についてお伺いします。						
(1) 主な売上先(顧客)はどこですか? ①糸島市内 ②福岡市 ③福岡県内(①②以外) ④福岡県外 ⑤不明						
(2) 主な仕入先はどこですか? ①糸島市内 ②福岡市 ③福岡県内(①②以外) ④福岡県外						

	問10 糸島市の中小企業支援施策に期待することなど、ご意見がありましたらご記入ください。
委員	事業者が状況を満足しているかどうか、順調なのかどうかを聞く設問を設けるべきと考える。売上や利益が挙がっていたとしても、幸福度ではないものの、意識的な満足度を確認できると良い。
委員	現在、働き方が多様化しているにもかかわらず、依然として従来への雇用や設備投資を前提とした考え方が根強く残っている。比較のためにこれまでのやり方を踏襲することも必要だが、同時に今後どのように変えていくのか、その取り組みや意思を確認することも重要ではないか。
会長	各設問に対し、委員から忌憚なき意見が多数出たため、集約し、修正してほしい。
会長	議事(3)スキマバイト「タイミー」の活用について、(4)副業プロ人材の活用について、事務局から説明をお願いする。
事務局	<p>資料3に基づき説明。</p> <p>市内事業者の人材確保の現状と課題として以下を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産年齢人口の減少により、人材不足が深刻化。 ・事業者アンケート結果では「人が不足しているが集まらない」という声が多数。 ・小規模事業者が多く、従業員の急な休みに対応できず、一時的に運営を停止するケースも発生。 ・経営者が営業・経理・総務を兼務し、新規事業への挑戦が困難な状況。 ・中小企業振興基本計画においても「人材確保」が重要施策として掲げられている。 <p>そこで市は、事業者の新たな人材確保策として「スキマバイトを活用したスポットワーク」と「副業プロ人材を活用したスキルワーク」を展開し、その結果を報告する。</p> <p>スキマバイトを活用したスポットワークについては、昨年6月13日に㈱タイミーと協定を締結。各種セミナーを展開しつつ、介護福祉や一次産業等へのアプローチも行った。</p> <p>更に、活用事例として「㈱イトキュー」「牧のうどん」の取り組みをタイミーに取材いただき、HPで広報。結果として登録ワーカー数は協定締結前と比較し1.35倍増、事業者数146は278(1.9倍)に増加している。</p> <p>今後の課題と方針としては、事業者の掘り起こし強化と数値目標(登録事業者数・ワーカー数・マッチング数)を設定。休眠事業者(1回のみ利用後、一定期間経過した事業者)の原因把握と再利用促進。安定的な求人が出るようになった段階で、ワーカーへの訴求も強化していきたい。</p> <p>「副業プロ人材を活用したスキルワーク」に関しては、昨年7月に株式会社カルビンと業務委託契約を締結。8月に市内事業者10社を選定し、副業マッチングサイトを通じてプロ人材を募集した。</p> <p>1社1名のプロ人材と契約し、12月には意見交換会を開催。また、3月24日に成果報告会を実施予定(3社によるパネルディスカッション)となる。</p> <p>具体的な成果事例として皮製品製造業のSIMCLEAR「シムクリア」を紹介する。自社製造商品の海外展開の販売戦略に対し、プロ人材を募集。13名の応募があり、海外戦略に精通した人材</p>

	<p>を選定した。</p> <p>結果、台湾市場をターゲットに設定し、現地企業とのマッチング。台湾のクラウドファンディングサイトに掲載し、販売前からファンを獲得するという戦略および方向性を固めた。</p> <p>更に、国内ギフトショーへの参加も決定し、プロ人材の助言を受けながら準備を進行している。</p> <p>また、今年度活用した事業者が次年度独自で副業人材を活用したいとの申し出もあっている。そのため、市でプラットフォーム各社の情報を収集している。</p> <p>その場合、市の「専門家活用補助金」を活用し、契約料の2/3（最大10万円）を補助することも可能となる。事業者独自の活用を促し、「副業活用の文化醸成」を加速させていきたい。</p>
委員	<p>副業人材の活用に関しては、福岡銀行にもノウハウがあるため、情報交換させていただき、一緒にできればいいと思う。</p>
事務局	<p>現在、情報収集を進める中で、福岡銀行の取り組みは伺いたいと思っていた。10事業者が伴走支援を終えた後、次のステップへ進む際には、市が収集した情報を提供し、事業者自身が最適な選択をできるようにする。</p> <p>引き続き情報交換を行いながら、事業者に活用してもらえる形を目指したい。</p>
委員	<p>「将来の雇用」という意味合いでいうと、プロボノのような知識やスキルを無償提供し、社会貢献するボランティア活動のような部分に関して、特に大学連携を進める糸島市では、大学生が学びながら働く等考えられるが、そういった広がりには検討できるか。</p>
事務局	<p>プロボノとは異なるが、学生のインターンのマッチング事業を、学研都市づくり課が展開している。そういった情報も組み合わせつつ進めていきたい。</p>
会長	<p>3. その他 (1) 人材活性化プロジェクトの状況報告に関して、本来であれば小津委員に説明をお願いするところだが、今回欠席のため、オブザーバーとして参加している有限会社日高ポーリング工業の平川代表に報告をお願いする。</p>
平川	<p>人材活性化プロジェクトは糸島市中小企業振興基本条例に基づき、地域の会社経営者等が集まり企画・運営している。</p> <p>特に中小企業振興基本計画の5つの施策の柱のうち「人材」に特化し、企業の採用・労務知識向上を目指すことを目的に、毎月1回会議を実施している。</p> <p>今年度の主な活動については、以下の通りとなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)リクルートとの連携事業 ・求人票作成方法等をレクチャーする人材採用セミナーの実施 ・タイミーの事業所登録促進を目的としたセミナーの実施。 ・今後の活動について再度協議を実施。 <p>次年度は、経営者が最低限の労務知識を習得するためのセミナー等を、社会保険労務士を講師に招いて実施する企画を進めている。</p> <p>課題は、参加者が固定しており、かつ少数なため、今後より多くの事業者に参加いただけるよう周知活動等に力を入れたい。</p>
会長	<p>(2) 委員の任期について、事務局から説明をお願いする。</p>

事務局	<p>糸島市中小企業振興審議委員の任期は今年 5 月 22 日までとなっており、次回の会議までに次期委員の選任が必要となる。</p> <p>公募委員については、3 月号の広報で募集を行う予定であり、永濱委員には是非応募をお願いしたい。また、関心のある方には各委員でぜひ応募を呼びかけていただきたい。</p> <p>なお、団体からの推薦については、各団体に改めて依頼を行う。推薦の機会があれば、ぜひ引き受けていただけるようお願いしたい。</p>
-----	---

■閉会